

令和3年度



大三小だより

10月号

令和3年9月30日
大田区立大森第三小学校
校長 吉成 美紀

10月の行事予定

ホームページアドレス <https://www.ota-school.ed.jp/oomoridai3-es/>

健全な心身の育成を目指して

副校長 小林孝一郎

暑かった夏も終わり、さわやかで、すがすがしい季節を迎えました。学習にも運動にも大いに飛躍できるよう、2学期もがんばっていききたいものです。

しかしながら、まだまだ暑い日が続いたり、秋の長雨や台風が接近したり等で、外で思い切り体を動かせなかったりする時期でもあります。さらに新型コロナウイルス感染症拡大への不安もあり、子供たちは、心ももやもやした状態で毎日を送っているのが現状ではないでしょうか。

そのような中ではありますが、学校では今年度も10月は、「早寝・早起き・朝ごはん月間」を実施します。健康で元気に過ごすために、もう一度自分の生活習慣を見直す良い機会にしていきたいと考えております。現在使用している「健康観察表」を活用して、児童の様子をチェックしていきます。ご家族でも「早寝・早起き・朝ごはん」を意識して、一緒に取り組んでいただければ幸いです。

また、東京都の取り組みとして、「体力づくり強調月間」としても位置付け、体力向上に向けた取り組みを行っていきます。思った以上に長い自粛生活や熱中症対策により、体力・運動能力の低下が心配されます。今年度は、例年実施できなかった「体力・運動能力テスト」を6月に実施しました。思った程の大きな低下は見られませんでしたでしたが、一部課題もありましたので、体育の授業、ハッスルタイム等を通して、体力・運動能力の向上に努めてまいります。とりわけ、現在、16日に行われます体育学習発表会に向けて、各学年の取り組みも始まっています。学年毎の鑑賞になりますが、児童の頑張っている姿から、取組の成果を感じ取っていただけたら幸いです。

毎日の生活のリズムをしっかり整え、栄養・運動・休養と無理をせず、健康な生活が送れるようご家庭でもご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

《給食費の引き落とし》

10月12日と25日が引き落とし日です。

日	曜	朝	行事予定	補習	SC
1	金	読書	都民の日	2・4	
2	土				
3	日				
4	月	朝会	委員会		
5	火	学		6	
6	水		B時程④		○
7	木	体育	避難訓練		○
8	金	読書		1・5	
9	土				
10	日				
11	月	朝会	クラブ		
12	火	学		2・4	
13	水	安全			○
14	木	集会	児童鑑賞日		○
15	金	読書	児童鑑賞日予備日		
16	土		体育学習発表会		
17	日				
18	月		振替休業日		
19	火	学		1・6	
20	水	学ハ	ハッスル高		○
21	木	音楽			○
22	金	読書	2年遠足	3・4	
23	土		土曜補習②		
24	日				
25	月	朝会			
26	火	学	4年遠足	2・5	
27	水	学ハ	ハッスル中 授業④		○
28	木	学			○
29	金	読書	遠足予備日	3・6	
30	土				
31	日				

10月の生活目標

「みんなの物を大切にしよう」

生活指導 島 弘

学校には、みんなで共有して使う物や場所がたくさんあります。クラスのボールであったり、鉛筆削りであったり、ゴミ箱など様々なものがあります。そうしたみんなの物を大切に使うことはとても大切なマナーです。次に使う人への思いやりの気持ちがあると、また次の人も使いやすくなります。そうした思いやりの輪を大三小で広げていけると素晴らしいと思います。

また、物を大切にすることは、社会科で学習する「3R(リユース・リデュース・リサイクル)」に該当し、昨今話題の「SDGs(持続的な開発目標)」にもつながります。周りの人のことを考えて気持ちのよい集団生活を送るための正しいルールやマナーを身に付けることが、地球規模の問題を考えるよい機会にもなります。ぜひ、ご家庭でも、実践していけるように、お声かけをお願いいたします。

校内研究について

研究推進委員会 堤 真智子

今年度は国語の学習指導に関する研究を行っています。テーマは、「確かな学力を目指した授業の研究」。学年ごとに、子供たちの実態に応じた様々な工夫を取り入れながら授業を行っています。特に、言葉を介してかかわる楽しさ、主体的に学ぶ態度、学習内容の確実な理解を大切にしています。

国語は、各教科の基礎となる教科。「言葉」で理解する、「言葉」で表現する力を高めていきます。

ハッスルタイムについて

体育部 石井 雄大

本校では、体力向上のために1年間を通してハッスルタイムという時間で10分程度運動をしています。

今年度は、感染症拡大防止対策のため、予定通りの実施ができていませんが、2学期は短縄跳びを予定しています。

人と人の距離を十分に空け、個々の力を伸ばせる場にします。また、運動不足でなかなか外で遊ぶ気持ちになっていない児童が、身体を動かすよいきっかけにできるような工夫も考えています。

最近、体力が落ちている児童や気分が沈みがちの児童も見受けられます。

学校やご家庭でも身体を動かし、元気な体を作りましょう。

読書の秋～人生の一冊～

図書館部 神谷 優香

本校では、6月と10月を読書月間と決め、取り組みを行っています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、PTA 読み聞かせ隊による活動は放送で流すなどの制限の中で行っています。

そのため、ご家庭でも、読み聞かせをする、ご家族で同じ本を読む、読んだ本について話をするなど、家族で読書による交流をしていくことで、読書の機会を増やす取り組みを実践してみてください。週に一回程度を継続していくと、読書力の向上にもつながります。この機会にぜひ取り組んでみてはいかがでしょうか。

また、読んだ本を記録する読書スキルカードにも、全校で取り組んでいます。読書月間を通して子供たちの人生に力をくれるような、わくわくする一冊との出会いを願っています。

5年 こどもの目

国語『たずねびと』の学習から

『たずねびと』を読む前は、戦争について今は終わったことだから自分には関わりはないと思っていました。けれども『たずねびと』を読むたびに、亡くなった人たちが生きていれば、戦争がなかったらと考えるようになりました。二度と世界中の人が日本と同じ目にあわないようにしたいと思うようになりました。

最初は核爆弾が戦争を起こさないための重要な物だと思っていました。でも、『たずねびと』を読んだら一発の爆弾で14万人が死んでしまったことを知り、核はつくるべきではなく、平和な世界をつくるのが大切だと思いました。

最初は、名前が同じ「アヤ」を探しに行くだけの話だろうと思いました。しかし、学習していくうちに、広島の大原爆の被害の大きさを知ることができました。このような被害を出した原爆のことや、広島のことをさらに知りたいと思うようになりました。

初めて「たずねびと」を読んだときは、こわいな、かわいそうだなと単純な気持ちにしかならなかったけれど、学習を進めていくうちにもう戦争なんて起きてほしくないなという気持ちや罪のない人がたくさん死んでしまうのはよくないことだなと思うようになりました。

最初は、主人公「綾」の気持ちを考えて読んでいただけだけれど、学習するにつれておばあちゃんの思いや原子爆弾の怖さ、14万もの人々が亡くなったことなども知り、二度と同じことが起こらないようにしていきたいと思いました。そして、このような原子爆弾のことや犠牲になった人々のことを忘れないでいきたいと思いました。

主人公の「綾」と同じで、最初この物語は、戦争の話かなと思うくらいでした。でも綾の心情を学習していくうちに、実際に原子爆弾の被害を受け亡くなった多くの方や今もその怖さを語り継いでいる方たちがいることなどを知り、原子爆弾の恐ろしさがわかってきました。この学習を通して、広島のことや被害にあった方たちのことを忘れないように生きようと思いました。

